

2008年4月12日開催!

第2回フォーラムのお知らせ



下記日程にて組合との共催で、第2回フォーラムを開催いたします。  
立命館の民主主義の現状に関心をお持ちの  
元教職員、現任教職員、院生、学生の皆さん！率直に語り合きましょう。

## 第2回フォーラム

### 【テーマ】

立命館の「これまで」と「これから」～教育研究と組織運営～

【会場】衣笠キャンパス 至徳館（旧中川会館）——401 会議室

【開催日時】2008年4月12日（土） 午後2:00～4:30

### 【コーディネーター】

●佐々木 嬉代三氏（元副総長）

### 【問題提起】

『哲学』が語られても哲学は語られない—何のためのガバナンス?—

●井上 純一氏（元学生担当常務理事）

「立命館で働き続けますか？定年まで」

●友藤 信明氏（元立命館大学学生課長）

「独裁」なのか、それとも「リーダーシップ」なのか  
～大学における「ガバナンス」のあり方をめぐって～

●斎藤 敏康氏（立命館大学教職員組合副委員長）

★懇親会：午後5:00～ 会場：カルム 会費：3000円（学生・院生無料）

※フォーラム終了後、懇親会を開催します。

今年3月に退職された教職員の方もお迎えし、なごやかに懇親会を行いたいと思います。

共催 「立命館の民主主義を考える会（元教職員）」／立命館大学教職員組合



4月12日、「考える会」としては2度目のフォーラムを、教職員組合との共催で開くこととなりました。昨年末に開いた第1回のフォーラムは「立命館の民主主義は、今？」という危機意識あふれるテーマでありましたが、この危機意識を継承しつつも今回は、立命館の「これまで」を回顧し、あるべき「これから」を展望したいと考えています。ただし、この回顧と展望は、いうまでもなく教育研究を担う組織のありようをめぐる行われ、しかも現在という時点/地点に根ざして行われるのですから、朱雀に城を構える当局がこのところ立て続けに打ち出している管理強化の路線と、厳しい緊張関係をはらむことになるだろうと予想されます。もちろん、不毛な対立は避けるべきですし、我々としては真面目かつ真剣に語り考えながら、耳を傾けてくれる人々の多からんことを願うばかりなのですが、率直に言って当局側に身を寄せる人々がそのような柔軟な姿勢を保ってくれるかどうか、心もとない限りです。それでも、現役の学生や教職員に語りかけることは私たちの喜びですし、この喜びが広がって豊かな学園像を描き出すことが出来たならば、最高です。

第1回の参加者は天候不順にもかかわらず、110名を越えました。櫻の舞う今回は第1回に勝る規模で開きたいと願っています。現役の皆さんは、年度当初で何かと忙しいと思いますが、どうか万障繰り合わせてご参加ください。

### 2007年度退職者を歓迎！

フォーラムの後、前回同様、懇親会を開きます。今年3月末に退職され、晴れて「考える会」の一員として名乗りを挙げられる皆さんへの歓迎会という意味が含まれていますし、元教職員の同窓会といった意味合いも含まれますが、なによりも2時間半のフォーラムでは語り足りなかったことを語り、しかもアルコールの力を借りて言い難かった本音を語るということが大切なのだと心得ています。学生さんたちは、これまた前回同様、無料です。どうぞ、日頃の鬱憤を晴らしつつも、学園の現在を憂い未来を信ずる人々が大勢いるという事実自信をもって、明日の活動の糧にしていいただければ幸いです。

前回の懇親会には60名を超える方々が来られました。今回もその程度の規模を予定しています。こちらにも宜しく足を運んでください。

事務局連絡先：

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学教職員組合 気付  
「立命館の民主主義を考える会（元教職員）」

TEL:075-465-8200（宮澤気付） FAX:075-465-8201

メールアドレス [rits.democracy@gmail.com](mailto:rits.democracy@gmail.com)

ホームページアドレス <http://rits-democracy.blogspot.com/>